

## むつ市地域おこし協力隊活動状況報告書

むつ市長 宮下 宗一郎 殿

隊員氏名 小池 拓矢

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2022年1月分】

### 1. 実施した活動の概要・状況

川内町は下北半島の中でも積雪量が多い地域であるため、この雪を有効活用するために冬のアクティビティを企画した。むつ市海と森ふれあい体験館のサポーターを対象に、安部城鉦山跡でのスノーシュー体験や、イグルー（ブロックを積み上げた雪の家）づくり体験を提供した。これらのアクティビティは全体的に満足してもらえたため、活用の方法を考えていきたい。

（主な活動）

#### ◇1月29日（土） スノーシュー・イグルーづくりプレ体験

1月29日（土）に、体験館の冬のアクティビティのモニタープログラムとして、体験館のサポーターの方々約20名にスノーシューおよびイグルーづくりを体験してもらった。

安部城鉦山跡をスノーシューで散策し、「誰も足を踏み入っていない山を歩く貴重な体験ができた」、「冬だと葉が落ちていて色々なものが見られた」などの感想をいただいた。

昼食後には体験館の前でイグルーづくりを行った。イグルーとはカナダ北部のインuitと呼ばれる先住民が狩りの際に作る住居のことであり、初めて作る人がほとんどだった。雪を踏み固め、雪のブロックを切り出し、積み上げていく作業を体験してもらい、「オリジナルのイグルーを作れたのは達成感があった」、「また挑戦したい」などの感想をいただき、プログラム全体としても高評価だったため、内容を精査して、一般にも提供できるようにしていきたい。



### 2. 翌月の活動予定

引き続き、冬のアクティビティの企画、実施をしていく予定である。